



校長室の窓から

万寿小学校学校便り20号

R6年8月27日（火）

◎2学期がスタートしました。

今年の夏休みは例年以上の厳しい暑さでしたが、37日間のお休みの後、久しぶりに万寿小のみんなに会えたことをとても喜んでいます。夏休みが終わるのは寂しいですが、実は私はこの夏休み明けの子どもたちに会うのがとても楽しみなのです。ちょっと見ない間に身長が伸びていたり、たくましくなったりしていて、子どもの成長ってすごいなと感じるからです。

【始業式に話した2つのこと】

1つ目「多様性を大切に」人はそれぞれ違いがあって、その違いは顔や名前、性別だけでなく、好きなことや楽しいこと、考え方も違います。その違いを認め合い大切にしていきたいと思いますという話をしました。その話と関連付けながら、「ますのきょうだい」の「がんばれ がんばれ ますのきょうだい いつでもどこでもなかよくしよう」の言葉にある「ますのきょうだい」というのは「万寿小学校の児童や先生」でもあるのだよ、「なかよく」というのは「認め合う」という意味もあるのだよ、という話をしました。

2つ目「凡事徹底」この言葉は、子どもたちも知っていたり、座右の銘にしている経営者の方もありたりするくらい有名な言葉です。「当たり前のことを当たり前にしていこう」という意味です。学校生活でも、当たり前に皆さんがしていることがたくさんあります。例えば、「あいさつ」「そうじ」「せいりせいとん」などもそうですね。普通にだれでもできるように、徹底して続けていくことは難しいです。そのように、目立たないけれど大切にしたいことを話しました。

この2つのことが大切にできる万寿小学校であって欲しいと思っています。

【生徒指導の岸本亨太先生から】

2学期からの学校生活について、「命を大切に」「楽しい2学期に」というお話がありました。「楽しさ」についてはパリオリンピックのレスリングで金メダルに輝いた文田健一郎選手の「苦しい期間もあったけれど、それと同じくらい楽しいこともあった。トータルしてプラスが上回ったので今回は優勝できたのかなと思う。」という言葉から「楽しい」には「初めて知る」「できるようになる」「上手になる」「チャレンジする」すなわちレベルアップする楽しさがあるという話をされました。レベルアップするための努力をしていく2学期になるといいですね。

暑さが厳しいため、残念ながら、体育館で一同に集まっての始業式とはなりませんでした。テレビ画面を通して、子どもたちは真剣に話を聞くことができました。2学期の良いスタートが切れたのではないかと思います。

◎2校時に各教室にお邪魔しました。

絵日記を見せながら夏休みの思い出を話す学級。2学期の係活動や一人一役を決めている学級。「こんな係がクラスにほしい」という国語の学習を行っている学級…等々どの学級も元気で、活気のある雰囲気でした。2学期からの学校生活を待ち望んでいたようで、本当に嬉しかったです。

